

大阪医科薬科大学病院 感染対策室

研究の名称	外国人医療従事者における潜在性結核感染症の実態解明と適切な支援内容の検討 -全国医療機関アンケート調査-
対象	2025 年 4 月 1 日現在、日本病院会に加盟している医療機関を対象としています。 す。本研究では、全国の約 2,500 施設を対象にアンケート調査を実施予定です。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：近年増加している外国人医療従事者に対し、適切な結核感染対策（入職時のスクリーニング検査や、潜在性結核感染症への対応など）が実施されているか、その実態を把握するために行います。本研究で得られた成果は、将来的な感染対策ガイドラインの策定や、検査・治療費助成などの公的支援のあり方を検討するための基礎資料として利用します。 利用方法：日本病院会に加盟する全国の医療機関（約 2,500 施設）を対象に Web アンケート調査を実施します。各医療機関から、以下の情報を収集し統計的に分析します。 外国人医療従事者の雇用状況（人数、職種など） 入職時の結核検査の実施状況 検査結果の集計データ（陽性率、治療実施率など）

	※ 本研究では、各施設の「集計データ」のみを取り扱います。患者さんや医療従事者個人の氏名や住所など、特定の個人を識別できる情報は一切取得しません。 ※ 収集したデータは、大阪医科薬科大学 感染対策室にて厳重に管理され、学会発表や論文投稿などの目的でのみ使用されます。 利用又は提供の開始予定日：2026 年 2 月 1 日
利用し、又は提供する試料・情報の項目	本研究では、患者さんや医療従事者の血液や組織などの「試料」は使用しません。全国の医療機関へのアンケート調査により得られた、以下の「情報（施設単位の集計データ）」を使用します。 - 医療機関の基本情報 所在地、病床数、運営形態、感染管理専従者の有無 など - 外国人医療従事者の雇用状況 職種、人数、主な出身地域、在留資格区分 など - 結核スクリーニングおよび治療の実施状況 入職時検査（IGRA 等）の実施基準や費用負担のあり方 検査実施数、陽性者数（年代・出身地域別の集計値など） 治療の実施率、完遂率 治療中断や未治療の主な理由（費用、言語の壁、帰国など） - 現場における課題 外国人医療従事者の結核対策に関して、各施設が抱えている問題点（自由記述） ※ ご注意 本研究で収集するのは、すべて「施設単位で集計された数値や情報」です。

	患者さんや医療従事者個人の「氏名」「生年月日」「住所」「ID」といった、個人を特定できる情報は一切収集・利用しません。
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。
研究者名 【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学 感染対策室 室長 小川 拓	
参加拒否の申し出について 本研究は、対象となる医療機関の皆様の自由意志によるご協力をお願いするものです。アンケートにご回答いただけない場合でも、貴施設が不利益を被ることは一切ございません。 ご回答いただいた内容（データ）は、個人や施設が特定されない統計データとして処理されます。そのため、アンケート送信（回答完了）後は、データの匿名性が担保される性質上、個別のデータを特定して削除（撤回）することが困難となります。参加を希望されない場合は、アンケートに回答せず、そのまま破棄していただきますようお願いいたします。	
問い合わせ窓口 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号 大阪医科薬科大学病院 感染対策室 担当者 小川 拓 連絡先 072-683-1221（代） 内線 2780	